

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年7月19日 (2012.7.19)

【公表番号】特表2012-504616(P2012-504616A)

【公表日】平成24年2月23日 (2012.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-008

【出願番号】特願2011-530076(P2011-530076)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 K 8/41 (2006.01)

A 6 1 K 8/64 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 8/33 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/97 (2006.01)

A 6 1 K 8/63 (2006.01)

A 6 1 K 8/86 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/73

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 K 8/81

A 6 1 K 8/41

A 6 1 K 8/64

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 8/33

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/97

A 6 1 K 8/63

A 6 1 K 8/86

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月2日 (2012.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

本発明は、水分を保持することにより、乾燥、ひびわれ、及びあかぎれの症状から皮膚ならびに髪を守る組成物に関する発明である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

髪の調整剤は様々な方法でその働きを示す。髪が濡れている場合、水が髪の可塑化剤と

なるため、髪は柔軟性を持つ。髪の調整剤は可塑化効果を促進する。さらに、髪が脆くなくなるための成分を加える。

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある（国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【特許文献 1】 国際公開第 00 / 048555 号

【特許文献 2】 米国特許出願公開第 2001 / 0031787 号明細書

【特許文献 3】 米国特許第 5635469 号明細書

【特許文献 4】 米国特許出願公開第 2006 / 0034792 号明細書

【発明の概要】

【課題を解決するための手段】